

邑楽・館林圏域(国管理区間及び県管理区間)の浸水想定図(高頻度(年超過確率1/10))

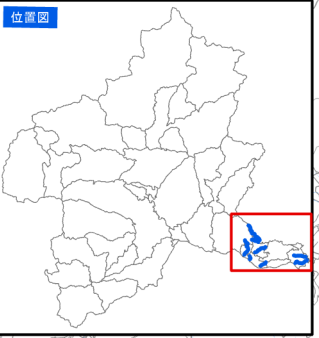
1. 説明文
(1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/10(毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10(10%) の降雨に伴う洪水により邑楽・館林圏域の国管理区間及び県管理区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を示した図です。(高頻度)
(2)この浸水想定図は、現況の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/10(毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10(10%) の降雨に伴う洪水により邑楽・館林圏域の国管理区間及び県管理区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び外水による氾濫等を考慮していません。また、前接となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、各河川における河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項
(1)公表年月日 令和 7 年〇〇月〇〇日
(2)作成主体及び対象となる河川(国管理区間は邑楽・館林圏域には浸水が生じないため県管理区間のみ記載)
群馬県県土整備部河川課:谷田川、谷田川導水路、鶴生田川導水路、鶴生田川、楠川、近藤川、新堀川導水路、新堀川、逆川(新堀川支川)、新谷田川、多々良川、新谷田川取水路、五箇川、大面野川、板倉川、蔵川、矢場川、孫兵衛川、蔵川(矢場川支川)、休泊川、海老瀬川、朝日野川、泉野川

(3)実施区間
【群馬県県土整備部河川課】
・谷田川 左岸 邑楽郡千代田町大字太崎字北田 612 番地先から館林市青柳(青柳橋)まで
右岸 邑楽郡千代田町大字太崎字北田 613 番地先から邑楽郡明和町矢島(青柳橋)まで
・谷田川導水路
谷田川からの分派点から利根川への合流点
・鶴生田川導水路
鶴生田川からの分派点から利根川への合流点
・鶴生田川
多々良川からの分派点から谷田川への合流点
・楠川
左岸 館林市大字四ツ谷字村前 79 番の 1 地先から鶴生田川への合流点
右岸 館林市大字四ツ谷字村前 78 番の 2 地先から鶴生田川への合流点
・近藤川
鶴生田川からの分派点から谷田川への合流点
・新堀川導水路
谷田川からの分派点から利根川への合流点
・新堀川
左岸 邑楽郡邑楽町大字隠塚字宮前 2361 番地先から邑楽郡邑楽町赤堀(逆川合流点)まで
右岸 邑楽郡邑楽町大字隠塚字宮前 2363 番地先から邑楽郡邑楽町赤堀(逆川合流点)まで
・逆川
左岸 邑楽郡邑楽町大字城島字山神裏 1479 番の 4 地先から新堀川への合流点
右岸 邑楽郡邑楽町大字鶴新田字戸原 63 番地先から新堀川への合流点

・新谷田川
左岸 邑楽郡大泉町大字下小泉字富士ノ越 1694 番の 1 地先から谷田川への合流点
右岸 邑楽郡大泉町大字下小泉字富士ノ越 1692 番の 1 地先から谷田川への合流点
・多々良川
左岸 邑楽郡邑楽村大字石打字山之神 386 番地先から館林市大字日向字森木 48 番地先
右岸 邑楽郡邑楽村大字石打字砂田 1742 番地先から館林市大字木戸字広内 177 番地先
・新谷田川放水路
新谷田川からの分派点から利根川への合流点まで
・五箇川
左岸 邑楽郡千代田町大字上五箇字中道 354 番の 1 地先から谷田川への合流点まで
右岸 邑楽郡千代田町大字上五箇字山王東 363 番の 2 地先谷田川への合流点まで
・大面野川
左岸 邑楽郡板倉町大字飯野字城 802 番地先から渡良瀬川への合流点まで
右岸 邑楽郡板倉町大字飯野字辻 790 番地先から渡良瀬川への合流点まで
・板倉川
左岸 邑楽郡板倉町大字板倉字大新田 3432 番の 170 地先から渡良瀬川への合流点まで
右岸 邑楽郡板倉町大字板倉字樹蔵野 2750 番の 1 地先から渡良瀬川への合流点まで
・蔵川
左岸 (栃木県地籍)から渡良瀬川への合流点まで
右岸 館林市下早川田町字島ノ内 1876 番地先から渡良瀬川への合流点まで
・矢場川
左岸 太田市大字市場字八幡林 685 番の 4 地先の取水堰から栃木県足利市県町浄土川戸 1143 番地先まで
右岸 太田市大字市場字八幡林 685 番の 4 地先の取水堰から邑楽郡邑楽町秋妻字中耕地乙 265 番地先まで
・孫兵衛川
邑楽郡邑楽町大字篠塚字陣屋 2103 番地先の県道橋から多々良川への合流点まで
・蔵川(矢場川支川)
太田市大字竜舞 3226 番の 2 地先の農道橋下流端から矢場川への合流点まで
・休泊川
左岸 太田市大字内ヶ島字川向乙 207 番地先から利根川への合流点まで
右岸 太田市大字内ヶ島字川向 216 番の 1 地先から利根川への合流点まで
・海老瀬川
大面野川からの分派点から板倉川への合流点まで
・朝日野川
邑楽郡板倉町朝日野三丁目 10 番 3 号から海老瀬川への合流点まで
・泉野川
邑楽郡板倉町泉野一丁目 1 番 2 から板倉川への合流点まで
(4)算出の前接となる降雨:年超過確率 1/10(ただし新堀川の水位周知区間については 1/10~1/20)
(5)河道条件:現況
(6)関係市町村:館林市、太田市、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町、大泉町

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。



凡 例

----- 市町村界

浸水深

0.0~0.5m未満
0.5~3.0m未満
3.0~5.0m未満
5.0~10.0m未満
10.0~20.0m未満

